

令和3年度第2回岡山市総合教育会議

日 時：令和3年11月22日（月）

午後3時30分～

場 所：岡山市役所本庁舎3階 第3会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 協議事項

- ・岡山市教育大綱がめざす子どもの育成に向けた取組状況等について
—「全国学力・学習状況調査」及び「児童生徒の問題行動・不登校等生徒
指導上の諸課題に関する調査」の結果を受けて—

3 閉 会

令和3年度第2回岡山市総合教育会議 調査・分析ご報告資料

～令和3年度全国学力・学習状況調査より～

令和3年11月22日
株式会社ベネッセコーポレーション

①教科調査

～全国との比較により, 強み・弱みを抽出～

②各質問紙 全国・経年比較

～差異・変化が大きな項目を抽出～

小学校

		岡山市 (公立)	全国 (公立)	全国 (公立)との差
国語	平均正答数(正答率)	65%(整数公表)	64.7%	0.3%
	無解答率	4.0%	4.3%	-0.4%※
算数	平均正答率(正答率)	70%(整数公表)	70.2%	-0.2%
	無解答率	2.5%	2.6%	-0.2%※

※無解答率は、「選択式問題」「短答式問題」「記述式問題」の無解答率の平均。全国(公立)との差は、小数点第2位を四捨五入しているため、岡山市(公立)と全国(公立)の差と差異あり。

中学校

		岡山市 (公立)	全国 (公立)	全国 (公立)との差
国語	平均正答数(正答率)	65%(整数公表)	64.6%	0.4%
	無解答率	4.5%	4.4%	0.1%
数学	平均正答数(正答率)	57%(整数公表)	57.2%	-0.2%
	無解答率	11.8%	11.2%	0.7%※

※無解答率は、「選択式問題」「短答式問題」「記述式問題」の無解答率の平均。全国(公立)との差は、小数点第2位を四捨五入しているため、岡山市(公立)と全国(公立)の差と差異あり。

・教科別正答率, 無解答率は, 全国と比較して差はほとんどない。

「記述式問題」の正答率, 無解答率 対全国比

○「記述式問題」の平均正答率の対全国比

年度	R3
小学校・国語	1.01
小学校・算数	1.01
中学校・国語	0.98
中学校・数学	0.99

○自分の考えを整理して伝えることができる児童生徒の増加

全国学力・学習状況調査の記述式問題の正答率の対全国比（岡山市の正答率/全国の正答率）を1以上にする。

・育む力を測る指標の「記述式問題の正答率 対全国比 1以上」について、小学校国語・算数は、達成。中学校国語・数学は、概ね達成。

○「記述式問題」の無解答率の対全国比

年度	H28	H29	H30	R1	R3
小学校・国語	1.1	1.0	0.9	1.0	0.9
小学校・算数	1.1	1.0	0.9	1.0	0.9
中学校・国語	1.7	1.4	1.5	1.4	1.1
中学校・数学	1.3	1.1	1.2	1.2	1.1

・「記述式問題」の無解答率は、対全国比でこれまでより改善。

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)			
			岡山市 (公立)	全国 (公立)	岡山市一 全国	
全体		14	65(整数公表)	64.7	0.3	
学習指導 要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	6	69.5	68.3	1.2
	思考力, 判断 力, 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	78.6	77.8	0.8
		B 書くこと	2	59.2	60.7	-1.5
		C 読むこと	3	48.3	47.2	1.1
評価の観点		知識・技能	6	69.5	68.3	1.2
		思考・判断・表現	8	62.4	62.1	0.3
問題形式		選択式	8	71.8	71.7	0.1
		短答式	3	73.5	70.6	2.9
		記述式	3	40.7	40.2	0.5

- 「短答式」の問題形式の正答率が、やや高い。 ⇒ 漢字の問題の正答率が高い。
- 一方で、「思考力,判断力,表現力等」の『書くこと』が課題。
⇒ 自分の意見は言えるが、その理由や根拠を示すことに課題。

問題 番号		解答類型(%)					
		1	2 正答	3	4	99 左記以外	無解答
3一	岡山市(公立)	11.3	<u>61.7</u>	8.8	15.8	0.2	2.2
	全国(公立)	10.7	<u>64.8</u>	7.8	14.5	0.1	2.1
	岡山市一全国	0.6	<u>-3.1</u>	1	1.3	0.1	0.1

- ・誤答選択肢は、解答類型4を選んだ割合が高い。(全国と同様の傾向)
 ⇒文章の構成を正しくとらえることはできていた。
 ⇔何のためにその構成にしたのかの「理由」をとらえることに課題。

【選択肢】

- 1 自分の主張を**最後の段落**に書くという構成にすることで、
 読み手が主張と事例との関係を考えながら読み進められるようにしている。
- ② 自分の主張を**最初と最後の段落**に書くという構成にすることで、
 自分の主張する内容を強調している。
- 3 自分の主張を**最後の段落**に書くという構成にすることで、
 読み手が主張を予想しながら読み進められるようにしている。
- ★ 4 自分の主張を**最初と最後の段落**に書くという構成にすることで、
 複数の異なる内容の主張を伝えている。

問題番号		解答類型(%)						
		1 正答	2	3	4	5	99 左記以外	無解答
3二	岡山市(公立)	56.8	0.4	9.8	13.4	9.0	2.1	8.6
	全国(公立)	56.6	0.3	12.0	11.8	7.3	2.5	9.6
	岡山市-全国	0.2	0.1	-2.2	1.6	1.7	-0.4	-1.0
① a 反対する意見		○	○	○	○	○		
① b 反対する理由		○	○	○	×	×		
② 【西田さんの話】から言葉や文を取り上げて書いている。		○	○	×	○	×		
③ 60字以上, 100字以内で書いている。		○	×	-	-	-		

- ・全体の正答率は全国よりも高い。
 ⇔誤答の解答類型4、5に該当する児童が全国よりも多い。
 ⇒自分の意見は言えるが、その理由を示すことに課題。

〈条件〉

- 「そうじたん当の人などがかたづければよい」という考えに反対する意見と、**その理由**を書くこと。
- 【西田さんの話】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内で書くこと。

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			岡山市 (公立)	全国 (公立)	岡山市－全国
全体		16	70(整数公表)	70.2	-0.2
学習指導要領の 領域	A 数と計算	4	63.1	63.1	0.0
	B 図形	3	58.9	57.9	1.0
	C 測定	3	74.2	74.8	-0.6
	C 変化と関係	3	75.6	75.9	-0.3
	D データの活用	5	75.7	76.0	-0.3
評価の観点	知識・技能	9	74.1	74.1	0.0
	思考・判断・表現	7	65.1	65.1	0.0
問題形式	選択式	6	75.3	76.0	-0.7
	短答式	6	76.1	75.8	0.3
	記述式	4	53.5	53.0	0.5

- ・全国と比べて、ほとんど差がない。
- ・図形領域は、基礎的な計算はできているが、活用に課題。

問題番号	評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)		
			岡山市(公立)	全国(公立)	岡山市-全国	岡山市(公立)	全国(公立)	岡山市-全国
2(1)	知識・技能	短答	59.7	55.1	4.6	1.5	1.6	-0.1
2(2)	知識・技能	選択	71.6	72.5	-0.9	1.2	1.0	0.2
2(3)	思考・判断・表現	記述	45.3	46.0	-0.7	4.2	4.6	-0.4

2

図1のような直角三角形があります。

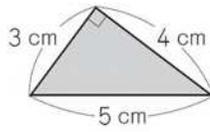


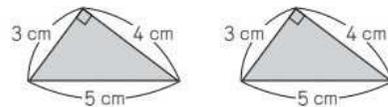
図1

(1) 図1の直角三角形の面積は何 cm^2 ですか。
求める式と答えを書きましょう。

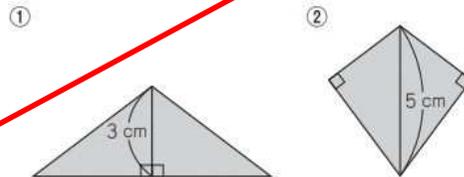
<面積 65cm^2 の回答>

岡山市	12.5%
全国	9.6%
差	2.9%

(2) 図1の直角三角形が2つあります。



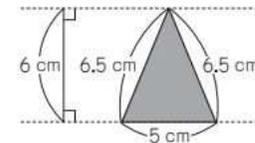
上の2つの直角三角形を使い、同じ長さの辺どうしを合わせると、下の①や②の図形をつくることができます。



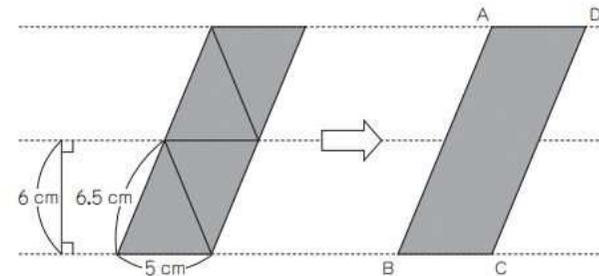
上の①と②の図形の面積について、どのようなことがわかりますか。
下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- ①の面積のほうが大きい。
- ②の面積のほうが大きい。
- ①と②の面積は等しい。
- ①と②の面積は、このままでは比べることができない。

(3) 次のような二等辺三角形があります。



上の二等辺三角形を4つ使い、次のように、同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形ABCDをつくりました。



平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形ABCDの面積を求めます。

辺BCを底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、平行四辺形ABCDの高さをどのように求めたのかわかるようにしましょう。

また、平行四辺形ABCDの面積が何 cm^2 になるのかも書きましょう。

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			岡山市 (公立)	全国 (公立)	岡山市(公立)と 全国(公立)の差
全体		14	65	64.6	0.4
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	78.6	79.8	-1.2
	書くこと	3	56.9	57.1	-0.2
	読むこと	4	49.1	48.5	0.6
	伝統的な言語文化と国語の特質 に関する事項	4	76.5	75.1	1.4
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	54.7	56.0	-1.3
	話す・聞く能力	3	78.6	79.8	-1.2
	書く能力	3	56.9	57.1	-0.2
	読む能力	4	49.1	48.5	0.6
	言語についての知識・理解・技能	4	76.5	75.1	1.4
問題形式	選択式	6	64.7	63.9	0.8
	短答式	4	75.6	74.4	1.2
	記述式	4	54.7	56.0	-1.3

- ・全国と比べて、ほとんど差はない。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、「敬語」の正答率が高い。
- ・一方で、自分の考えを表現することに課題。

問題番号		解答類型(%)					
		1 正答	2 準正答	3	4	99 左記以外	無解答
1三	岡山市(公立)	31.3	23.1	24.4	3.9	13.4	3.9
	全国(公立)	33.9	23.2	23.0	4.3	12.3	3.4
	岡山市ー全国	-2.6	-0.1	1.4	-0.4	1.1	0.5
①	本田さん、石川さん、山下さんの中からいずれか一人を選んで、その記号を塗り潰している。	○	△	○	○		
	山下さんの発言への回答が必要であることに触れている。	○	○	○	×		
	山下さんの発言への回答が必要であることに触れていない。	○	○	×	○		
②	【話し合いの一部】の①から⑥までのやりとりを踏まえどのようなことについて発言すればよいのかを書いている。	○	○	○	×		
③	②のように考えた理由を具体的に書いている。	○	○	×	○		

三 西中学校の大野さんの発言6のあとで、参加者の一人が発言します。あなたは、誰がどのようなことについて発言するとよいと考えますか。また、そのように考えたのはなぜですか。本田さん、石川さん、山下さんの中から一人を選び(どの参加者を選んでもかまいません。)、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。
 なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【話し合いの一部】の1から6までのやりとりを踏まえ、どのようなことについて発言すればよいのかを書くこと。

条件2 条件1のように考えた理由を具体的に書くこと。

・解答類型3を選んだ割合が高い。
 ⇒どのように発言すればよいかは書けているが、その理由を具体的に示すことが課題。

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			岡山市 (公立)	全国 (公立)	岡山市(公立)と 全国(公立)の差
全体		16	57	57.2	-0.2
学習指導要領 の領域	数と式	5	65.1	64.9	0.2
	図形	4	51.7	51.4	0.3
	関数	3	55.6	56.4	-0.8
	資料の活用	4	53.9	53.8	0.1
評価の観点	数学的な見方や考え方	7	40.6	41.1	-0.5
	数学的な技能	3	80.5	77.7	2.8
	数量や図形などについての知識・理解	6	64.7	65.6	-0.9
問題形式	選択式	2	51.6	52.4	-0.8
	短答式	9	70.8	70.5	0.3
	記述式	5	34.8	35.0	-0.2

- ・全国とほとんど差はない。
- ・数学的な技能が、全国より上回る。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式		正答率(%)			
			数と式	関数	資料の活用	え方	数学的な見方や考	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	短答式	記述式	岡山市(公立)	全国(公立)	岡山市一全国
1	$(5x+6y)-(3x-2y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	2(1) ア					○		○		79.5	77.1	2.4
2	数量の関係を一元一次方程式で表す	具体的な場面で、一元一次方程式をつくることのできる	1(3) ウ					○		○		74.3	71.3	3.0
5	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられたデータから中央値を求めることのできる			1(1) ア			○		○		87.7	84.5	3.2
4	経過した時間と影の長さの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している		1(1) ア					○	○		45.2	48.0	-2.8
6 (2)	四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる	2(1) イ、ウ				○				○	59.1	61.8	-2.7

- ・数学的な技能が、全国より上回っている。
- ・関数の概念理解、自分の考えの「理由」を説明することに課題。

問題番号		解答類型(%)												
		1 正答	2 準正答	3 準正答	4 準正答	5	6 正答	7 準正答	8 準正答	9	10	11	99 左記 以外	無解答
6(2)	岡山市(公立)	23.6	0.3	18.3	5.6	0.0	1.9	0.0	9.4	4.2	0.2	1.9	17.2	17.3
	全国(公立)	28.3	0.3	16.9	5.5	0.1	1.9	0.1	8.7	4.0	0.1	2.0	16.7	15.4
	岡山市一全国	-4.7	0.0	1.4	0.1	-0.1	0.0	-0.1	0.7	0.2	0.1	-0.1	0.5	1.9
4(n+3) と計算している場合	(a) n+3 は自然数だから,	○	○	×	計算式のみ	×	/					計算の誤り		
	(b) 4(n+3) は4の倍数である。	○	×	○		×								
4n+12 と計算している場合	(c) 4n, 12が4の倍数で, 4の倍数の和は4の倍数だから,	/					○	○	×	計算式のみ	×	計算の誤り		
	(d) 4n+12 は4の倍数である。						○	×	○		×			

図2

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35

説明

n を自然数として、四角で囲んだ4つの数のうち、左上の数を n とすると、右上の数は n + 1, 左下の数は n + 5, 右下の数は n + 6 と表される。これら4つの数の和は、

$$n + (n + 1) + (n + 5) + (n + 6)$$

$$=$$

・解答類型3が多い。
⇒理由説明に課題。

①教科調査

～全国との比較により, 強み・弱みを抽出～

②各質問紙 全国・経年比較

～差異・変化が大きな項目を抽出～

■各質問紙調査項目の肯定的回答(選択肢1, 選択肢2(※))の合計値が,

全国比較もしくは経年比較において,

学校質問紙：10%以上

児童/生徒質問紙：5%以上

である, 差異・変化が大きな項目を抽出しました。

※各質問ごとの選択肢1, 選択肢2の内容は, 各質問事項内に記載しています。

(例) 1:よく行った 2:どちらかといえば, 行った

カテゴリ	2021 質問番号	2021 質問事項	2021	2021	2021	21-19	21-19	21-19
			岡一全	岡一全	岡一全	岡山市	岡山市	岡山市
			選択肢 1+2	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 1+2	選択肢 1	選択肢 2
地域連携	(83)	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(82)の質問にあるような、 保護者や地域の人との協働による活動 を行いましたか(1:よく行った 2:どちらかといえば、行った)	15.5%	1.4%	14.1%	0.2%	-20.8%	21.0%
小中連携	(77)	前年度までに、 近隣等の中学校 と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか(1:よく行った 2:どちらかといえば、行った)	11.7%	3.2%	8.5%	-11.0%	-1.4%	-9.6%
	(78)	前年度までに、 近隣等の中学校 と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか(1:よく行った 2:どちらかといえば、行った)	25.8%	5.5%	20.3%	-10.0%	-20.7%	10.7%
	(79)	平成31年度(令和元年度)の全国学力・学習状況調査の分析結果について、 近隣等の中学校 と成果や課題を共有しましたか(1:よく行った 2:どちらかといえば、行った)	21.6%	4.4%	17.2%	-12.1%	-4.7%	-7.4%
指導内容 (言語活動)	(39)	前年度までに、各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを 800字 (400字詰め原稿用紙2枚)程度で児童にまとめさせたことがありましたか(1:よく行った 2:どちらかといえば、行った)	-13.8%	-6.3%	-7.5%			
指導内容 (探究)	(37)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な 課題の解決に生かす ことができるような機会を設けましたか(1:よく行った 2:どちらかといえば、行った)	-8.4%	-7.5%	-0.9%	-10.0%	-5.8%	-4.2%
授業研究等	(25)	個々の 教員が 、 自らの専門性 を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(1:よくしている 2:どちらかといえば、している)	-0.7%	-10.9%	10.2%	-12.3%	-9.3%	-3.0%
	(26)	教職員は、 校内外の研修や研究会 に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか(1:よくしている 2:どちらかといえば、している)	-5.9%	-5.0%	-0.9%	-17.9%	-4.7%	-13.2%

- ・地域連携について、社会全体で子どもをはぐくむ取組が充実。
- ・小中連携は全国より充実。経年で見ると減少。
- ・書かせる言語活動、各教科等での「探究」に課題。

2021 質問番号	2021 質問事項	2021	2021	2021	
		岡一全	岡一全	岡一全	
		選択肢 1+2	選択肢 1	選択肢 2	
(C2_5)		⑤ 学校が作成した学習動画 等を活用した学習	-17.6%	-10.3%	-7.3%
(C2_7)	C1_1の期間のうち学校の全部を休業していた期間中、家庭学習としてどのようなものを課していましたか	⑦ 都道府県や市町村教育委員会が作成した「問題集」・「復習ノート」 等の教材(教育委員会のHPで配信されている場合を含む)を活用した学習	48.6%	71.3%	-22.7%
(C2_8)	(1:基本的に全校で実施 2:一部の学年・学級で実施)	⑧ 都道府県や市町村教育委員会が作成した学習動画 等を活用した学習	27.7%	31.3%	-3.6%
(C2_10)		⑩ テレビ放送 を活用した学習	-14.7%	-4.9%	-9.8%

・教育委員会作成の「問題集」「復習ノート」の活用が多く、「学習動画」「テレビ放送」の活用が少なかった。

カテゴリ	2021 質問 番号	2021 質問事項	2021	2021	2021	21-19	21-19	21-19
			岡一全	岡一全	岡一全	岡山市	岡山市	岡山市
			選択肢 1+2	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 1+2	選択肢 1	選択肢 2
自己肯定感・ 自己効力感	(6)	自分には、 よいところ があると思いますか (1:当てはまる 2:どちらかといえば, 当てはまる)	2.9%	3.7%	-0.8%	-5.5%	-5.7%	0.2%
	(7)	将来の 夢や目標 を持っていますか (1:当てはまる 2:どちらかといえば, 当てはまる)	-3.1%	-1.5%	-1.6%	-7.3%	-7.6%	0.3%
	(9)	難しいことでも、 失敗を恐れない で挑戦していますか (1:当てはまる 2:どちらかといえば, 当てはまる)	1.2%	2.0%	-0.8%	-11.9%	-9.7%	-2.2%
社会とのか かわり	(23)	新聞 を読んでいますか (1:ほぼ毎日読んでいる 2:週に1~3回程度読んでいる)	0.0%	0.3%	-0.3%	-6.5%	-2.2%	-4.3%
	(24)	今住んでいる 地域の行事 に参加していますか (1:当てはまる 2:どちらかといえば, 当てはまる)	3.1%	3.9%	-0.8%	-12.1%	-12.2%	0.1%
	(25)	地域や 社会をよくする ために何をすべきかを考えることがありますか (1:当てはまる 2:どちらかといえば, 当てはまる)	-0.2%	0.4%	-0.6%	-7.3%	-5.2%	-2.1%
言語活動	(32)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを 工夫して発表 していましたか(1:発表していた 2:どちらかといえば, 発表していた)	-1.9%	2.2%	-4.1%	-5.0%	-3.5%	-1.5%
	(40)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、 互いの意見のよさを生かして 解決方法を決めていますか (1:当てはまる 2:どちらかといえば, 当てはまる)	0.2%	2.3%	-2.1%	-5.7%	-1.7%	-4.0%
国語	(43)	国語 の勉強は 好き ですか (1:当てはまる 2:どちらかといえば, 当てはまる)	-0.1%	1.7%	-1.8%	-5.4%	-3.0%	-2.4%
算数	(56)	算数 の授業で学習したことを、普段の 生活の中で活用 できないか考えますか(1:当てはまる 2:どちらかといえば, 当てはまる)	-1.2%	-0.1%	-1.1%	-7.5%	-8.7%	1.2%

・全国と比べて差はないが、経年比較で減少。
 「自己肯定感・自己効力感」「社会とのかかわり」「言語活動の充実」
 「国語の勉強が好き」「算数の学習を生活で活用」

カテゴリ	2021 質問 番号	2021 質問事項	2021	2021	2021	21-19	21-19	21-19
			岡一全 選択肢 1+2	岡一全 選択肢 1	岡一全 選択肢 2	岡山市 選択肢 1+2	岡山市 選択肢 1	岡山市 選択肢 2
小中連携	(78)	前年度までに、 近隣等の小学校 と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか(1:よく行った 2:どちらかといえば、行った)	-4.6%	5.4%	-10.0%	-31.4%	-19.8%	-11.6%
	(79)	平成31年度(令和元年度)の全国学力・学習状況調査の分析結果について、 近隣等の小学校 と成果や課題を共有しましたか(1:よく行った 2:どちらかといえば、行った)	12.1%	6.2%	5.9%	-25.9%	-3.2%	-22.7%
地域連携	(83)	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(82)の質問にあるような、 保護者や地域の人との協働 による活動を行いましたか(1:よく行った 2:どちらかといえば、行った)	26.2%	11.2%	15.0%	-2.4%	-8.9%	6.5%
学級での話し合い活動	(43)	調査対象学年の生徒に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、 一人一人の生徒が意思決定できる ような指導を行っていますか(1:よくしている 2:どちらかといえば、している)	5.3%	-5.4%	10.7%	10.9%	7.4%	3.5%
指導内容(探究)	(34)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで 課題を設定し、その解決 に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか(1:よく行った 2:どちらかといえば、行った)	10.3%	5.1%	5.2%			
指導内容(国語)	(49)	調査対象学年の生徒に対する 国語 の指導として、前年度までに、 補充的 な学習の指導を行いましたか(1:よく行った 2:どちらかといえば、行った)	5.6%	3.4%	2.2%	21.9%	7.3%	14.6%
指導内容(情報収集)	(40)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、 本やインターネット、図書館資料 などを活用した授業を計画的に行いましたか(1:週に1回程度、または、それ以上行った 2:月に数回程度行った)	-29.7%	-9.3%	-20.4%			
指導内容(数学)	(57)	調査対象学年の生徒に対する 数学 の指導として、前年度までに、 実生活における事象との関連 を図った授業を行いましたか(1:よく行った 2:どちらかといえば、行った)	-17.5%	-10.7%	-6.8%	-1.5%	-10.9%	9.4%
指導内容(道徳)	(44)	調査対象学年の生徒に対して、特別の教科 道徳 において、生徒自らが自分自身の問題として捉え、 考え、話し合う ような指導の工夫をしていますか(1:よくしている 2:どちらかといえば、している)	-3.1%	-9.7%	6.6%	13.8%	7.1%	6.7%

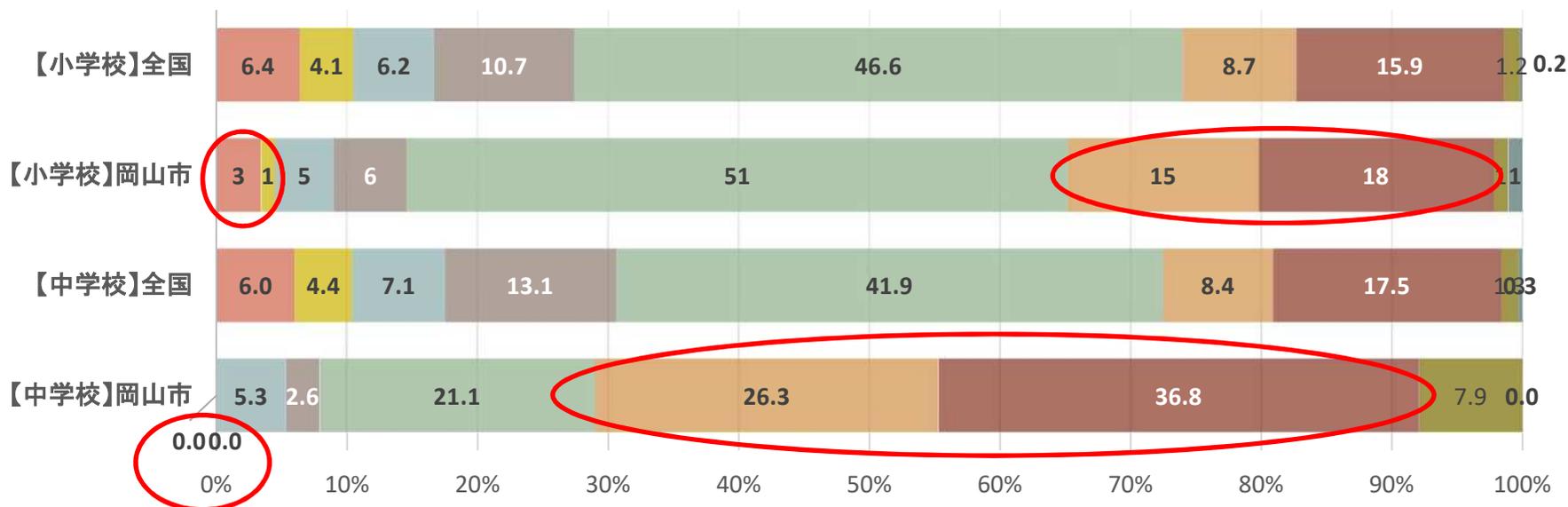
- ・経年比較で減少 ⇒小中連携
- ・経年比較で充実 ⇒「学級での話し合い活動」「道徳での話し合い活動」「国語の補充的学習」
- ・全国より充実 ⇒「地域連携」「授業での探究的な活動」
- ・本やインターネットなどを活用した授業を計画的に行うことに課題。

カテゴリ	2021 質問 番号	2021 質問事項	2021	2021	2021	21-19	21-19	21-19
			岡一全	岡一全	岡一全	岡山市	岡山市	岡山市
			選択肢 1+2	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 1+2	選択肢 1	選択肢 2
教員連携 組織力	(85)	調査対象学年の生徒に対して，前年度までに， 家庭学習の課題の課し方 について，校内の 教職員で共通理解 を図りましたか(教科共通)(1:よく行った 2:どちらかといえば，行った)	-11.8%	-10.3%	-1.5%	0.8%	-3.3%	4.1%
	(13)	教員が授業で問題 を抱えている場合，率先してそのことについて話し合うことを行いましたか(1:週に1回程度，またはそれ以上行った 2:月に数回程度行った)	-10.8%	-15.7%	4.9%			
	(14)	教員が学級の問題 を抱えている場合，ともに問題解決に当たることを行いましたか(1:週に1回程度，または，それ以上行った 2:月に数回程度行った)	-15.7%	-11.1%	-4.6%			
	(28)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について， 全教職員の間 で話し合ったり，検討したりしていますか(1:よくしている 2:どちらかといえば，している)	-16.0%	-5.1%	-10.9%	-15.3%	-5.9%	-9.4%
指導計画	(18)	指導計画の作成に当たっては，各教科等の教育内容を相互の関係で捉え，学校の教育目標を踏まえた 横断的な視点 で，その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか(1:よくしている 2:どちらかといえば，している)	-6.4%	-3.2%	-3.2%	11.2%	7.5%	3.7%
全国学 力・学習 調査の活 用	(62)	全国学力・学習状況調査の 調査問題や結果を踏まえて ，言語活動の充実などの授業改善や，定期考査問題やパフォーマンステストの改善などの学習評価の改善に取り組んでいますか(1:当てはまる 2:どちらかといえば，当てはまる)	-12.0%	-10.9%	-1.1%			
	(89)	平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の自校の結果について，調査対象学年・教科だけではなく， 学校全体で教育活動を改善 するために活用しましたか(1:よく行った 2:行った)	-0.9%	-12.4%	11.5%	-10.5%	-19.1%	8.6%
	(91)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における 独自の学力調査 の結果と併せて分析し，具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか(1:よく行っている 2:どちらかといえば，行っている)	14.2%	-1.2%	15.4%	8.1%	-14.1%	22.2%

- ・経年比較で改善 ⇒「学校の教育目標を踏まえた，横断的・組織的な指導計画」
- ・教科を超えた，教員連携が課題。
- ・独自調査の活用は全国に比べて充実。
調査問題を活用しての授業改善や学習評価改善の取組は，全国と比べて課題。

カテゴリ	2021 質問番号・事項		選択肢
学校運営	あなたは校長として、よりよい学校運営を行うために、次のことをどのように考えますか。	(12) 校長として、現在、最も学びたいと感じていることを1つ選んでください。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 リーダーシップに関する新しい研究や理論 ■ 2 国や地方自治体の最新の教育政策 ■ 3 教育の質を向上させるためのデータの活用方法 ■ 4 よりよい教育課程の編成 ■ 5 教員の資質能力の向上の方法 ■ 6 授業のよりよい観察方法や、教職員へのより効果的なフィードバックの方法 ■ 7 教職員同士が協力し合う職場環境の作り方 ■ 8 人事管理 ■ 9 財務管理

質問(12)校長として、現在最も学びたいと感じていること

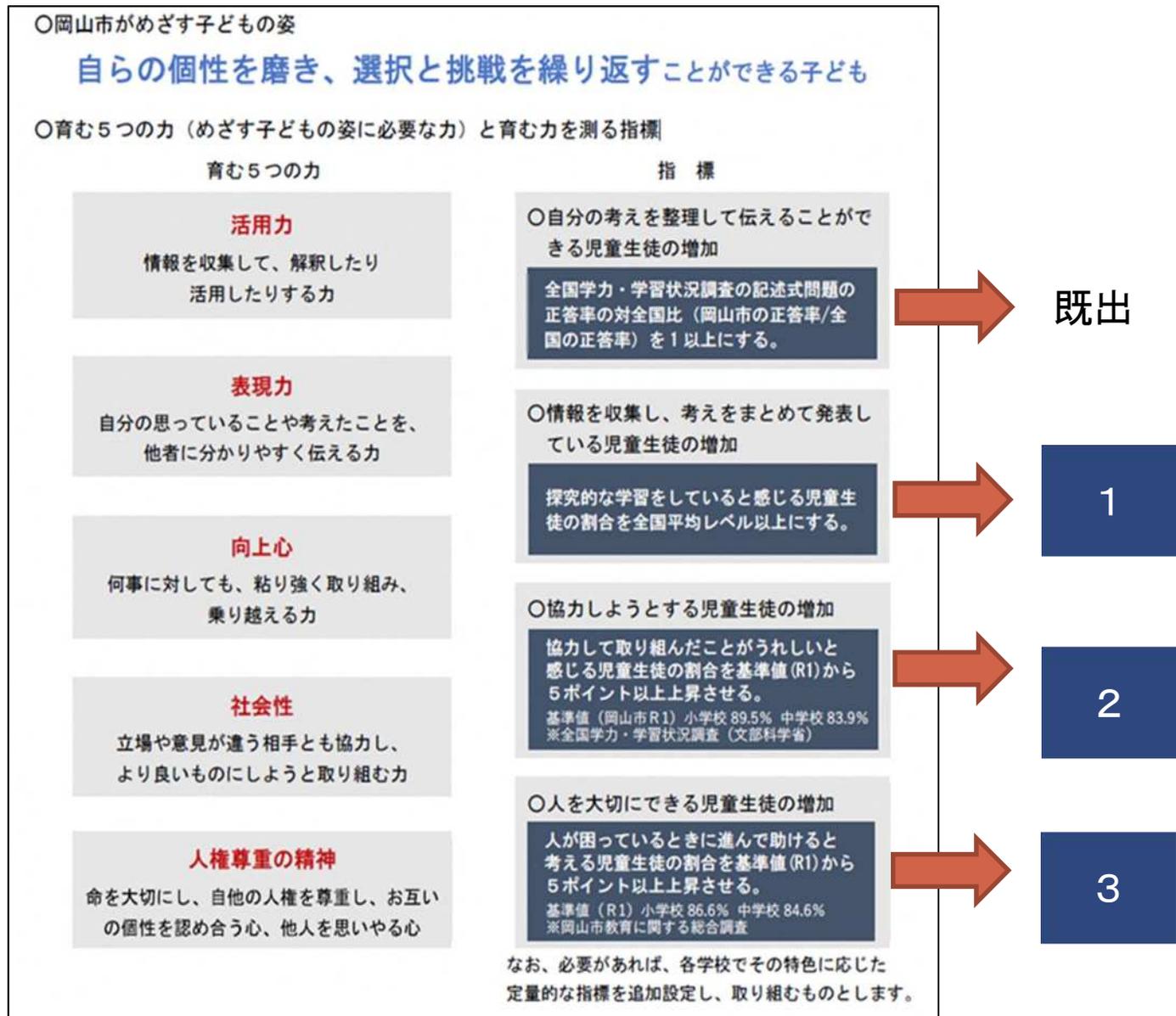


- ・リーダーシップや最新の教育政策は全国と比べて低い。
- ・授業参観・指導助言の方法や、組織づくりに関心が全国と比べて高い。

カテゴリ	2021 質問 番号	2021質問事項	2021	2021	2021	21-19	21-19	21-19
			岡一全	岡一全	岡一全	岡山市	岡山市	岡山市
			選択肢 1+2	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 1+2	選択肢 1	選択肢 2
勉強時間	(18)	学校の授業時間以外に、 普段 (月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの間、 勉強 をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(1:3時間以上 2:2時間以上、3時間より少ない)	-4.2%	-2.9%	-1.3%	9.2%	2.7%	6.5%
探究	(33)	1, 2年生のときに受けた授業では、 課題の解決 に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか (1:当てはまる 2:どちらかといえば、当てはまる)	-0.6%	3.4%	-4.0%	7.7%	4.1%	3.6%
	(39)	総合的な学習の時間では、 自分で課題を立てて 情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか(1:当てはまる 2:どちらかといえば、当てはまる)	2.8%	5.7%	-2.9%	13.1%	11.1%	2.0%
社会との かかわり	(25)	地域や社会をよくする ために何をすべきかを考えることがありますか (1:当てはまる 2:どちらかといえば、当てはまる)	1.4%	2.5%	-1.1%	8.1%	2.7%	5.4%
言語活動	(32)	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを 工夫して発表 していましたか(1:発表していた 2:どちらかといえば、発表していた)	0.5%	3.8%	-3.3%	8.4%	4.1%	4.3%
	(37)	学級の生徒との間で 話し合う活動 を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか(1:当てはまる 2:どちらかといえば、当てはまる)	0.6%	3.9%	-3.3%	5.8%	5.1%	0.7%
道徳/言語 活動	(42)	道徳 の授業では、自分の 考えを深めたり 、学級やグループで 話し合ったり する活動に取り組んでいますか(1:当てはまる 2:どちらかといえば、当てはまる)	1.2%	5.7%	-4.5%	11.7%	18.4%	-6.7%

・経年比較で充実

⇒「勉強時間」「探究」「社会とのかかわり」「言語活動」「道徳の授業での話し合い活動」



育む力を測る指標に関連する質問項目

1	2021 質問 番号	2021 質問事項	2021	2021	2021	21-19	21-19	21-19
			岡一全	岡一全	岡一全	岡山市	岡山市	岡山市
			選択肢 1+2	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 1+2	選択肢 1	選択肢 2
児童	(39)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか(1:当てはまる 2:どちらかといえば、当てはまる)	-1.5%	0.9%	-2.4%	4.0%	5.0%	-1.0%
生徒	(39)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか(1:当てはまる 2:どちらかといえば、当てはまる)	2.8%	5.7%	-2.9%	13.1%	11.1%	2.0%

・経年比較で、中学生の探究的な活動がより充実。

2	2021 質問 番号	2021 質問事項	2021	2021	2021
			岡一全	岡一全	岡一全
			選択肢 1+2	選択肢 1	選択肢 2
児童	(16)	友達と協力するのは楽しいと思いますか(1:当てはまる 2:どちらかといえば、当てはまる)	-0.1%	-0.1%	0.0%
生徒	(16)	友達と協力するのは楽しいと思いますか(1:当てはまる 2:どちらかといえば、当てはまる)	0.7%	4.1%	-3.4%

・全国よりも、中学生の友達と協力するのは楽しいと思う気持ちがやや上。

3	2021 質問 番号	2021 質問事項	2021	2021	2021	21-19	21-19	21-19
			岡一全	岡一全	岡一全	岡山市	岡山市	岡山市
			選択肢 1+2	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 1+2	選択肢 1	選択肢 2
児童	(10)	人が困っているときは、進んで助けていますか(1:当てはまる 2:どちらかといえば、当てはまる)	-0.8%	2.4%	-3.2%	-2.5%	-3.6%	1.1%
生徒	(10)	人が困っているときは、進んで助けていますか(1:当てはまる 2:どちらかといえば、当てはまる)	-0.3%	5.4%	-5.7%	4.5%	9.7%	-5.2%

・経年比較で、中学生の人を助ける意欲がやや向上。

自らの個性を磨き，選択と挑戦を繰り返すことができる子どもの育成

資料 2

育む5つの力「活用力」「表現力」「向上心」「社会性」「人権尊重の精神」

現
状

■ 5つの力の基礎としての2つの目標

○全国学力・学習状況調査の偏差値50以上
(国語と算数・数学の平均値)

R3	小学校		中学校	
	国語	算数	国語	数学
偏差値	50	50	50	50

○新規不登校児童生徒(小・中合計)の
出現率0.47以下

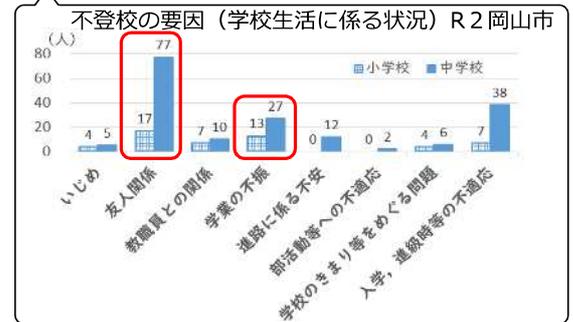
	H30	R1	R2
出現率(市)	0.74	0.81	0.90
出現率(国)	0.84	0.93	1.03

(児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査)

■ 育む5つの力を測る指標

○全国学力・学習状況調査の記述式問題の正答率
の対全国比(岡山市の正答率/全国の正答率)
を1以上にする

	H30	R1	R3
小学校	1.00	1.00	1.01
中学校	0.95	0.96	0.98



◆岡山市の現状

- 全国平均レベル以上の学力が身につく、記述式問題の正答率の対全国比は少しずつ上昇している。
- 新規不登校児童生徒の出現率は全国平均を下回っているものの年々高くなっている。
- 不登校の要因のうち学校に係る状況では、「友人関係」や「学業の不振」が多い。

成
果
・
課
題

★調査結果から明らかになった成果

児童生徒が議論し合う活動を取り入れた授業が増加した

↓ 学校の校内研修に指導主事が参加し、授業改善に向けた指導助言(R2から約200回実施)

児童生徒の「活用力」「表現力」が向上している

★調査結果から明らかになった課題

- 自分の考えを表現したり、理由を説明したりすることに焦点を当てた「活用力」「表現力」の育成が必要
- 不登校の未然防止として、より良い人間関係を築くための「社会性」「人権尊重の精神」の育成が必要

今
後
の
取
組

① 児童生徒が議論し合う活動の質の向上

教育委員会 ▷「授業改善資料(授業これからは!)」の活用推進

学校 ▷授業の中で児童生徒につけたい力を明確化・具体化した指導

▶「活用力」「表現力」「向上心」の育成

② 個に応じた指導の推進

教育委員会 ▷学力調査と質問紙調査の結果の活用推進

(※学習指導と生徒指導の両面から児童生徒を理解)

学校 ▷個人・集団の特性の理解を踏まえた、より良い人間関係につながる指導

▷児童生徒一人一人の課題に応じた支援

▷いじめの芽や差別の根を見逃さない指導

▶「向上心」「社会性」「人権尊重の精神」の育成

「活用力」「表現力」「向上心」「社会性」「人権尊重の精神」の育成へ